31 de Outubro de 1921 No. 212

Noticias do Brazil

大正十年十月卅一日．月曜日　第二百十二號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente

Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas

por Anno	15$000
„ Semestre	8$000
„ Mez	1$500
„ Semana	$500

天長節奉祝

萬物生氣旺盛なる南半球の春季、伯國の中心サンパウロに於て、本日の天長節祝日を迎ふるの吾等、如何で民族的歡喜の情に打たれざるを得んや。伏して惟るに今上陛下、叡聖文武至仁至慈、以て我民に臨ませられ、寶祚彌々隆にして國礎彌々鞏く、聖德の光被する所普天率土靡かざるなしであるから、籍を我邦土に繼ぎ、此の昭代に會ひ、仰いで皇運の盛大を頌し奉る吾等の喜悦、何物か之に加へんやである。

顧みるに、歐洲の大戰亂戈を戢め表面一見平和なるが如きも、其の内實に至つては今尚ほ靜謐に復せず、人心の動搖、思想の變化益々甚だしく、渾沌として不安の裡に彷徨せるもの尠からずである。則ち英國は内政問題に苦しみ、歐洲大陸は危險思想に脅かされ、支那は傳統的事大主義に由つて自からを禍いし、米國は此の虚に乘じ何物かを獲んとて暗中飛躍を行りつゝ有るのである。

獨り我國のみ平和主義を以て國基を固め、聖天子上に在して下萬民寧く、國體の精華萬古に亘りて赫灼たるは世界に比類なき所。君德の盛大以て頌すべく、邦家の前途以て祝すべきにあらずや。本月五日倫敦電報が聖上陛下の御不例を傳へし際には、吾等一同驚愕焦心爲す所を知らざりしも、次で拜接せる宮内省發表の御容態電報、更に關谷宮内次官及宮内省某大官の謹話電報に由り格別御重態に在し給はざるを詳かにするを得たので、今日の佳節を心の裏より祝し、聖壽の萬々歲を祈り奉り得るを幸福とする。

又た本年に於て吾等の歡喜に堪へざるは皇太子殿下が歐洲の盟邦友國を歴訪遊ばされたことである。今や歐洲は大戰の後を承けて形勢大に變化し、極東の我國も國際關係上樽俎の折衝益々繁難を加へ、盟邦の提挈轉た吃緊を要するの時に際し、陛下は宵衣旰食内外の政機を總攬し給ひ、國交頓に敦厚を増し。延て世界の平和を保障するの氣運を迎ふるに至りしは、咸聖德の餘澤に非ざるはなしで、殊に陛下は社稷民人の爲めに忍ぶべからざるの情を忍び、割くべからざるの愛を割きて、殿下西航を御允許し給へるは我國外交に裨益する所甚且大りである。皇太子殿下は英明岐嶷の資を以て寛厚温粹の德を具へさせられ、其の歐洲に於て列國の宮廷を歴訪遊ばされし御動容の禮に中らざるなきを始めとし、衆庶に接し給ふや尊を屈し光を和げ、絶へて矜貴の態なく、簡易虚坦彼等意料の外に出で、我國情始めて能く海外に通ずるを得たるは、是れ感謝と云ふべきか將た有難しと云ふべきか、吾等の歡喜胸に餘つて言ふ所を知らずである。

夫れ近く華盛頓に開かるゝ軍備制限及太平洋會議に至つては、固より平和を愛好し給ふ陛下の御意思に適ふ所で、我國の出席に由つて此の會議が始めて有意義となり、我國の發議が貫徹するに於て始めて地上に眞の平和が樹立さるゝのであるから、今日の佳節に當り吾等は以上の喜悦と希望を湛え、虔んで聖壽の萬歲、寶祚の無窮、國運の隆盛を祈る。

陛下の御慈愛

去月三日半歲の御外遊を終へさせられ御恙なく御歸朝遊ばされた。

▲皇太子殿下を　聖上御使として橫濱に奉迎し聖旨を傳達した德川侍從次長が殿下の御安着を奏上すべく即日日光に引返し田母澤御用邸に伺候したのは此の夜も更けなんとする九時頃で恐れ多いが陛下には最早や御寢所に入らせられる御時刻とて御和服に御召替になつて居られたが特に次長に謁を賜り非常な御滿足を以て

▲御安着奏上を　聞し召されたとは畏けれど御親子の御情愛さこそと拜察する、斯くて皇太子殿下には翌四日旅の御疲れも厭はさせられず日光に行啓、聖上皇后兩陛下に堪えて久しい御對面を遊ばされた、御對顔の時刻は午後二時であつたが此の日聖上陛下には御日課として一日も缺かさず午後に遊ばされる筈の裏手御苑の

▲御散策を御廢　しになり只管殿下の御成りを待たせられ先づフロックの御服装にて御座所に表向きの御挨拶を受けさせられ次で再び皇后陛下と御同列にて御入りの殿下と打寛がるゝ種々の御物語りがあり更に午後七時からは淳宮、高松宮、澄宮三殿下をも御召しになり下世話に云ふ御親子水入らずの

▲御晩餐の卓を　圍ませられ東宮殿下御外遊中の種々の珍らしき御物語りに打興せさせられたと漏れ承る

因に殿下が遙々と調ひ歸られたる兩陛下へのお土産の品々は聖上へは象牙の御美事なステッキ、皇后陛下へは巴里製眞珠の御頸飾り、殿下は御手づから親く兩陛下に御渡歐の紀念に子としての床しい孝心を添えられたと漏れ聞くだに畏し。

成功を望まば

南米で商業、工業其他何にせよ南米人對手の事業を營み成功を望む者は第一に南米人の風習、感情を熟知することが肝要だ、英國では斯うだ、米國では如斯しと手前勝手の理屈を附けて南米の風習に反する行爲を敢てするに於ては其感情を損じ遂に冷遇さるゝに至る、その場合南米人は駄目だなどゝ獨りで力んで見た所で初まらない、要するに其淺薄と其目的の不確立を裏書するに過ぎない。

▲南米人と英米人と　には其思想風習に少からざる相違があつて北米人の南米に於ける事業が不成績に終る事の多いのは畢竟北米人が南米に在つて漫りに自國流を振廻はす爲であるされば北米人中の先輩で南米に於て大事業經營の經驗ある者は常にその同國人に對し用意の不足を戒めて居る。

▲南米特殊の風習に　就て一例を擧ぐれば南米の上流人士と會談の際、對手の身につけた寶石入のピンでも指環でも之を賞讃すると其人は直に之を自分の身から外し貴下に進呈しますと手渡す風習がある、この場合その品を受取り乍ら誠に有がたう光榮の至りですと挨拶し直に之を先方に返戻するのが禮であつて若し先方の言葉に從ひ其儘持歸つたが最後永久社交界から排斥される又

▲人を招待する場合　客人に對し何日、何時、『貴下の家』に御來駕被下度しといふ意味の書狀を送る事がある、此『貴下の家』は客人に對し家全部を開放して御自由に提供するといふ意味で最も叮嚀な申出であるが之も眞に受けて招れた家に至り勝手な眞似をすると、あの人は紳士でないと斷定され疎外されるに至る

▲日本も以前は隨分　禮儀の八釜敷い國であつたが明治維新の革命氣分に新智識として北米流のガサツが加はり今では禮儀作法殆ど滅茶苦茶になつた、此間に育つた吾々は隨分無作法に慣れて居るから不知不識失禮を演ずると尠くない拉甸系統の國では特に氣を付けないといかぬ。

▼▲東西南北▼▲

◆コエリオ大佐を首領とする葡國武人派二十日政廳を占領し首相グランチョを射殺して新内閣を組織した

◆此政爭は初め王黨と連絡ある噂なりしも大統領無事コエリオ新首相大統領に迫り議會解散令を發せしむ

◆白耳義學士院では明瞭正確優美なる佛蘭西語の外交語としての位置を維持する事に努力すべく決議した

◆三世紀間外交語たりし佛蘭西語を今俄かに英語に代へんとする英米の專橫に對し一寸異議を挾んだもの

◆米國は總ての軍事的同盟に反對すとハーヂング演說す前大統領の米英佛協約は對獨軍事同盟に非ざるか

◆日本は華府會議に太平洋諸島の軍備撤廢を主張すと傳ふ北米が應ぜざる場合會議脱退の覺悟を以てせよ

◆智利海岸の一島嶼を日本が租借して海軍根據地となす魂膽ありとの風說亞國より出づ疑心暗鬼を生ず乎

◆伊國共產主義者二人北米にて殺人犯として過般死刑を宣告され歐洲各國の同主義者減刑示威運動熾ん也

◆駐佛米大使暗殺陰謀は此等共產主義者の所業と眼をつけ警察此方面に活動中なるも犯人未だ縛に就かず

◆佛蘭西が大戰に費した額は二四〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇法即ち一法四十錢で九百六十億圓と化した

◆獨逸バヴアリアの軍隊では秘密に武器の改良中の處發覺其電氣仕掛の機關銃は一分間六千發を發射すと

◆獨逸政府今度十億瑪の新紙幣を發行す之で共和政府に依り發行されたる紙幣合計九百五十億瑪となつた

◆米國ムンソン線の汽船段々改良され其新船『サザーン、クロス』號紐育リオ間を十一日と數時間で航走す

◆サントスの漁夫も聯邦監督官の干渉が細か過ぎるので大に閉口の態也好意の干渉も過ぎては不及が如し

◆此間中爲替相場突然八片臺から七片臺に落下した貿易調勢良好となれる今日不思議な現象と訝つて居た

◆處が實はこれ爲替取引に對し聯邦當局の干渉近頃五月蠅いので大銀行相謀り其不興表明の手段として手加減を加へ實力を政府に示したのだ

◇今週の外電◇

◆前匈國王復位失敗

瑞西に住居中の匈牙利前王カルロスは前皇后及前王子を伴はれ二十日飛行機にて瑞西を去り匈國オルデンブルグに到着し同地に待受けたる復位黨のオステンブルグ將軍はカルロスの匈國王復位を宣言し王を擁して首府ブダペストに進軍したるが匈國攝政ホルチー提督は兵を派して之を擊破し廿四日前王及前皇后を捕虜にしトチス城内に幽閉し同時に復位黨の重なる人々を投獄したり

カルロスの復位に就ては近隣諸國は勿論英國も亦反對の旨を宣言し、巴里に於ける大使會議はカルロス及前皇后を流謫の刑に處すべしとの意見にて其場所は奈翁一世終焉の地たるセント、ヘレナ附近のアセンソン島に決定の模樣なり

◆華府會議

華府會議近づき各國委員續々北米へ向け出發す而して日本軍事委員二十三日華府へ入り其第一着をなす、伊の老將ヂアス氏先頃より米國漫遊中にて、英の勇將ビーチー氏廿一日紐育着、佛國フォッシュ元帥亦二十二日巴里を發す何れも軍事委員として參列すべし

英首相ロイド、ヂョージ氏は委員隨員合せて九十六名と共に十一月三日倫敦を發すべく、佛首相ブリアン氏も出席の意向にて佛下院に對し政府信任如何を問ひ、下院は三三九票對一七八票にて信任案を通過したれば彼亦不日米國へ向ふべし

伊國委員及び白國委員は二十六日佛國シェルブルグ發汽船にて米國へ向ひ支那委員の一人たる駐英支那公使顧維均氏亦二十六日サウザンプトンを出發したり

會議は十一月十一日開催の豫定なりしが同日は大戰中行衛不明となりし所謂『無名兵士』の葬儀をアーリングトン墓地に擧ぐるに付、開會期を一日延期して十二日に變更したり

◆獨逸内閣改造

上シレシア問題に對する聯盟實行委員會の決定には獨逸國民大に憤激し遂にウイルッ内閣の總辭職を見たるが大統領エーベルト氏はウイルッ氏の外に適任なしとて内閣再組織を勸めウイルッ氏首相兼外相として新内閣組織せられたり

◇經濟欄◇

◆西伯利撤兵

日本政府はチタ政府との商議の結果如何に拘らず西伯利より撤兵する事に決したる旨廿六日東京電報は傳ふ

●新海底電線

南米在留伊太利人の商工業者中豫て南米東海岸と伊太利との間に海底電線敷設の計畫あり、前首相オルランド氏も南米來訪の節之を聞いて大に贊成し歸國後之が實現の爲盡力せる次第は甞て本紙上報道したる所なるが、計畫漸く進行し遂に『伊太利海底電線株式會社』の設立發企を見るに至りたり

同社發企人代表者は二十日聖市伊太利商業會議所の主催にて開かれたる在聖市重なる伊太利商工業者の集會に於て其計畫を發表し、來會者に對し株式の引受を望みし所、早速之に應じて引受をなすもの少なからずサンパウロに於ても相當應募者あるべき見込なりと

同社の事業は伊太利と西班牙、伯剌西爾、ウルグワイ、亞爾然丁間海底電線を敷設するにありて伊太利政府よりは既に之が特許を得たり

電線は一萬三千キロメートルにして追て智利、秘露へも延長する計畫なるが、差當り南米東海岸、伊太利間の連絡に着手すべく此線は二ケ年内に竣工の豫定なり

會社の資本金は金貨三億リラにして一株金貨五十リラなり

●南リオグランデの牧畜

南リオグランデ州統領の報告に依れば、一九二〇年に於ける同州現在家畜總數二二、〇八四、八〇〇頭此價格一、三九一、九六五コントにして其内牛、馬、豚の頭數及價格左の如し

種類	頭數	價格
牛	九、一七一、七〇〇頭	九五〇、一七八コント
馬	一、五四八、〇〇〇	九一、二九五
豚	五、五七五、一〇〇	一七九、一一四

●中央亞米利加の珈琲生產增加

中央亞米利加の珈琲生產は一八五〇年コロンビア國前大統領オスピナ氏がグワテマラ國に數十本の栽培を試みたるに始まりしが、栽培者漸く增加して近年は一年一、八〇〇、〇〇〇袋を生產するに至りたり、而して現在の幼樹に由り之を豫測するに三年後には其の生產二百萬袋に達すべしと

●珈琲防衛問題

珈琲防衛問題に關し十七日大統領が聯邦議會に送りたる意見書に對し聖州選出聯邦下院議員サンパイオ、ビダル氏は長文の意見書を發表したり

サンパイオ、ビダル氏は常に志を經濟に有するのみならず曾て聖州大藏長官として親しく珈琲に關する政務を處理し大に功績を擧げたる人にして、問題に精通すと稱せらる同氏の意見書は實質に於て大統領の意見を敷衍し解說したるものにして頗る詳細にわたり、之に關する法律案文をも添附せり

サンパイオ、ビダル氏は珈琲市價防衛機關設立の必要を細論するに當り、伯國が如何に珈琲の價格を調節し得る位置にあるか、而して珈琲の價格が是まで如何に不安定なるかを立證する爲め左の統計を擧げたり

▲世界に於ける珈琲の供給及消費（六〇キロ入袋數）

輸出港	一九一七—一八年	一九一八—一九年	一九一九—二〇年（聖州大霜害）	一九二〇—二一年	一九二一—二二年（豫想）
リオ	二、九五八、〇〇〇	一、七六八、〇〇〇	二、五四九、〇〇〇	三、三〇五、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
サントス	一二、一六九、〇〇〇	七、三六九、〇〇〇	四、一六九、〇〇〇	一〇、五二一、〇〇〇	七、八三〇、〇〇〇
バイア、ビクトリア	七〇九、〇〇〇	五七五、〇〇〇	七八二、〇〇〇	六八〇、〇〇〇	六五〇、〇〇〇
伯國合計	一五、八三六、〇〇〇	九、七一二、〇〇〇	七、五〇〇、〇〇〇	一四、四九六、〇〇〇	一一、四八〇、〇〇〇
他國	三、〇一一、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇	七、六八一、〇〇〇	五、七八七、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
世界の供給總計	一八、八四七、〇〇〇	一四、二二二、〇〇〇	一五、一八一、〇〇〇	二〇、二八三、〇〇〇	一六、四八〇、〇〇〇
世界の消費總計	一四、八三三、〇〇〇	一五、九六八、〇〇〇	一八、四九九、〇〇〇	一八、四六二、〇〇〇	一八、五〇〇、〇〇〇
サントス平均市價（一〇キロ）	四、一五〇ミルレース	一〇、七五〇ミルレース	一四、〇〇〇ミルレース	八、〇〇〇ミルレース	—

●伊國移民數

一九〇二年より一九二〇年に至る十九年間の伊太利移民の數は四百十五萬七千八百〇二人にして其重なる移住地たる北米、伯剌西爾及亞爾然丁への移民數左の如し

年次	北米へ　人	伯國へ　人	亞國へ　人
一九〇二	一九一、七二〇	三二、四七九	三〇、三七五
一九〇三	二一四、一五七	一〇、五一五	三九、七六三
一九〇四	一四二、三三七	九、八〇九	五七、六七四
一九〇五	三一五、五三一	一四、二九七	八二、五三四
一九〇六	二九二、〇五九	三、四一三	一〇九、一〇七
一九〇七	二八三、六七一	一一、八三六	七五、八三六
一九〇八	七〇、六六八	九、五九六	三六、三五六
一九〇九	二四六、一三一	九、二九五	八〇、七六二
一九一〇	二三三、三三五	八、四三四	九五、二四九
一九一一	一五五、八三五	一八、〇二一	三七、六六六
一九一二	二〇八、四三四	三、四八八	五九、三〇九
一九一三	三〇五、二四〇	二、三〇三	九九、二二四
一九一四	一三五、八二二	九、一六三	二五、三七一
一九一五	二六、九〇七	二、五七五	六、四〇〇
一九一六	四四、九九四	一、三三三	三、四九〇
一九一七	八、一九七	一五一	四三五
一九一八	一、五四五	一二八	二六八
一九一九	四一、六〇六	四、一三五	一〇、一七五
一九二〇	一六九、三七九	八、五九三	二六、五七五

尚本年一月より四月迄の移民數十一萬四千人にして内北米へ八萬人、亞國へ一萬三千人、伯國へ三千人、歐洲各國へ八千人は其重なるものなりと

●米國米の日本行

橫濱の一商人は十月米國加州より白米の日本輸入を試みたる所、橫濱に於て一石三十七圓の割合を以て販賣し得る勘定となり、同地の白米相場（一石四十圓）に比し三圓安なりき

今回の輸入は四千七百噸なるが、成績次第續々輸入の計畫なりと

日本は近來年々米の不足を告ぐるが故伯國米を日本へ輸出する事決して空想にあらず、之につけても當國の米作法を燒畑式より灌漑式に改め米質の改良を計る事急務なるべし

●歐洲失業者增加

英國の失業者は目下百七十五萬人に達し首相ロイド、ヂョージ氏は十九日の議會に於て斯の如き不景氣は百年來未曾有のことなりと公言したるが、瑞西政府も二十日の國務會議に於て同國内失業者救濟の爲八千六百萬法を投じて新工事を起す事に決したり

又羅馬の新聞紙の報道によれば、伊國内現在失業者約五十萬、此外に十五萬は充分の仕事を得難く每日僅少時間の勞働に從事しつゝありと

椰子の木陰

米國海軍省は目下英國に於て世界一の大飛行船を作りつゝある▲此飛行船は長さ七百呎、幅八十五呎で瓦斯容量二百七十二萬立方呎、各エンヂン三百五十馬力のもの六箇を据へ無線電信無線電話を備へて居る▲ガソリンの積載量は一萬〇四百ガロンで即ち英國から大西洋及米大陸を橫斷して加州迄直行し得る設計で其製作費二百萬弗の豫算である▲而して此飛行船を容るゝ爲ニウゼルシーに造られた格納庫は大きさに於て勿論世界一、總てコンクリートで築き此程竣工したが是亦工費二百萬弗を要したそうだ

●物價表（昨日）

棉上（エンラーマ）	一アローバ	—
同（エンカローソ）	一アローバ	一一、〇〇〇
米（特等）	六〇キロ	—
同（最上）	六〇キロ	—
同（上等）	六〇キロ	—
同（並等）	六〇キロ	—
モミ（特等）	六〇キロ	—
同（最上）	六〇キロ	—
同（上等）	六〇キロ	一八、〇〇〇
砂糖（特等）	六〇キロ	四六、〇〇〇
同（一等）	六〇キロ	四四、〇〇〇
豚脂（聖州產）	六〇キロ	一一〇、〇〇〇
同（南リオ州產）	六〇キロ	一一六、〇〇〇
マンヂオカ粉	五〇キロ	一四、〇〇〇
メリケン粉（亞國產）	四四キロ	三五、〇〇〇
同（内國產）	四四キロ	三五、〇〇〇
豆（ムラチニオ、セッカ）上	六〇キロ	二七、〇〇〇
同（中）	六〇キロ	—
豆（ムラチニオ、アグア）上	六〇キロ	—
同（中）	六〇キロ	—
豆（ブランコ）	六〇キロ	—
ミリヨ（アマレリニオ）	六〇キロ	一三、〇〇〇
同（アマレロ）	六〇キロ	一二、六〇〇
同（アマレロン）	六〇キロ	一二、六〇〇

大豆買ひたし
長谷川庄太郎
S. Hasegawa
Caixa Postal, 1427
S. Paulo

奉祝天長節
椎野豊
椎野正
テオヅレト、ソウト街二七

奉祝天長節
藤崎商會
本店　リオデジヤネイロ
支店　サンパウロ
　　　ペルナンブーコ

奉祝天長節
三共組商事株式會社
リオ出張所
西谷一男

●伯剌西爾曠原の探險

米國　テヲドル、ルーズベルト著
日本　北島湖西子譯

第九章

不明の川を赤道森林に突破し降る（五）

正午出發して數分、距離一キロメートルを過ぎて又もや急流に會し、停船するの已むなきに至り、天幕を張る間に例の如く大佐、リラー、ケルミット及アントニオ、コレアの四名探險せる所にては、急流は是までのものに增して險惡なるも對岸則ち西岸に荷物を降し、空引船にて通過し得べき見込みなるを以て、荷物を對岸に降ろし陸送する事一キロメートルにて平流の所に達せり、川は多數の岩間に泡立ち、或ものは六七尺ありき、玆にて鳳梨を多量に食せり、野生の豆は今花盛りなりき、晝食にトカノ及パパカイを食せるが何れも風味佳良なりき。

翌日は終日リラー氏指揮の下にカノアを西岸に沿ふて、急流の麓なる野營地迄降ろすことに費せり、深林には巨大なるシッパス則ち繩蔓の大なるは線金の如くにして、而かも香高き花房を有せり、蜂蜜の樹、種々の果實、小なるコヽナット等多し、パルミット則ち椰子玉菜は樞要なるものにして、その實を焙したるものは栗の如くにして營養分に富めり、大なるピラニャを捕へたるが孰れも美味なりき、一同十分に飽食鼓腹して喜び合へり。

此急流にてチェリー氏は或岩に一種の彫刻あるを發見せり、此は正しく太古の人のなせる業にして吾人の知れる限りにては、近代のインヂャ人には斯くの如き技術なし、岩の陸に面せるものと水に面せるものと其形態を異にし、水に面せるものは已に磨滅に近きも、前者は尙鮮明にして岩の上部の平坦なる所に、中央の黑點に四個の環を精密に彫刻せられ、直徑一フート半なり、又その下方岩の側線に近き所にMかWを四重にせし如きものありき、此記號は何を意味し如何なる人の作なるやは断言しがたきも、恐らく太古多少開化したるインヂャ人、この優雅なる川を突破したるものなりしならん、南米に白人の進入せざりし以前、已に半開粗野なる人種ありて、一時隆盛したる事ありしが、遂に亡びたるならん

此南米に於ける人類興廢の歷史は哺乳動物の歷史に於ける古生物學と等しく説明する事能はざるもの多し、大佐は如此圖表は大森林洲中に、未だ曾て見たる事なしと云へり、然るを今吾人一行の降らんとする白人未踏未知の流域の只一點にのみ見ることは愈々奇なりと云ふべし。

次の日約三キロメートルを下りて、急峻なる小山を見たり、眺め麗はしく深く丈高き熱帶森林は其小山を蔽ひ居れるが、之れぞ急流の前兆なりき、故に其山麓に停船し、長途陸送の準備をなせり、カノアは全部空虚にしたるが、尙余の船と及同伴せしものと二艘を失はんとせり、則ち二大屈曲の急流は鋭角を以て回轉せんとせる所に暗礁と陸より垂れ下れる樹枝ありて玆にカノアは坐礁せり。

●史外の史（下）

杉山帆影

かくて足下に對し、彼が吾人に加へたる凡ての敵對壓迫を忘れ、この彩あるブラジルの偉人につき、彼が政府にありて、己自身を御する事を知らざりし事に、その計るべからざりし誇張性、又彼の強き自負心及び暴歷的なる個性にも關らず、彼は偉大なる才能を、舉げて國家に盡したる事につき、マッソナリアに於て一言あらん事を、希望いたすものに候

尙ほ羅馬に於ける俚言『死者につきては、生前の善事のみ語るべし。』とあるを、御記憶あらん事を。

凡ての瑕瑾は忘らるべし。

彼はその遺言書に、國家が彼の娘ナルシサを補助し、その未來の婿がブラジルに盡したる勞力に對し、拂はれんことを乞へり、余は余の知友殊に足下に對し、その目的の爲めに努力あらん事を懇請するものに候。

* * *

友よ余は政治につき最早嫌惡を抱き居り候、余は國家の爲めになし得べき凡てをなせり、今後は餘生の安靜の爲めに計るべく候、皇帝、政治等に不關心なる、吾等の慕しき母たる田を耕すべく候。

然れどもジョゼ、ボニファシオが判士等に答へたる如く、余が獨立運動に努力したる事を後悔したりとは申すまじく候、獨立を成就したる者そは余には無之、吾等にても無之、ジョゼ、ボニファシオにても無之、またペドロ一世にても無之候、實にドンジョアン六世のブラジルへの來朝によるものに候、一八一五年十二月十六日の法令に歸し候、ブラジルをして再び植民地たらしめんとせし無謀なる葡國政府そのものに候、王子に對し選擧權者大會を促したる、國民の意思（獨立史上の大炬火）であつた、そして最后にそれは時運が然らしめたものに候。

一國の獨立は、只一人の力にてなし得るものは無之候。國民意思の力によるものに候、それは絶對のものにして、屈せしめ得ざる力を有し候、目醒めたる國民良心が、壓服を制して、自由を得んと胸跳らす時の力は、破り得ざるものに候……』

之ほど眞實の彼を表明したものはない、この書中の文字は、偉大なる愛國者の精神の發露である。

かくの如くジョアキン、ゴンサルヴェス、レドは、我が國獨立の主要なる構成者であつた事は當時の政治史を研究する誰人も等しく肯き得やうにもかゝはらず、彼は國家から忘れられて顧みられない、一方單に加擔同意者にすぎない、ジョゼ、ボニファシオや、ドンペドロ一世は、紀念像となつて表彰されてゐる。一つの公園、一つの町街の名、それにさへ彼の名は思ひ出されなかつた。

然し遲れたりと雖もまだ時がある、來る年の獨立百年祭を機として、何等かの方法によつて、一八二二年大維新の殊勳者ジョアキン、ゴンサルヴェス、レドの名を思ひ出の種たらしむる企てがあつてほしいものである、國家は國史の頁に台座を與へて、負ひたる彼の德に謝さねばならぬ。（了）

●無線電信で出來る 地球と火星との通信

◇マルコニー氏は火星より電波の信號を受けたと主張

火星には人間が棲んでゐるであらうとは天文學者の多數が信じてゐる、そして其の文明は餘程程度の高いもので恐らくは地球の文明以上であろうと想像せられてゐる、それで火星と通信して見たいと言ふのが

▲天文學者の希望で、今日までに色々の方法が案出せられゐるが、近來無線電信の發展からして電波による通信が一番好かろうと言ふことになつてはゐるが、未だ具體案を立てた者もなく、一種の空想説に過ぎぬことになつてゐるが、昨年の夏マルコニーの無線電信會社の技師が地球以外の何處からか發信された

▲電波の信號を耳にしたと言ふことが發表せられ其れは多分火星の發信であろうと云ふことで、當時世界を騒がせたことは御存知の讀者もあろう今春マルコニー氏も同樣のことがあつたとてマルコニー會社の技師マクベス氏が九月始めに紐育市ロータリー俱樂部で語つたが其通信は十四萬メーターの電波であつた所を見ると、今日迄に

▲地球上で　使用された電波よりも遙かに大きいので、餘程强力な機械を使用してゐることが分る、其は本年の春マルコニー氏が地中海で同氏所有のヨット『エレクトラ』號の甲板で無線電信の試驗の最中に感じたのである、恰度夜のことで國際信號のVとSとの間で

▲遮斷せられたので其の波長を計算して見たのである、所で其電波が兄弟分の火星から發せられたものであろうと云ふマルコニー氏の理由としては、地球上で最大電波を發し得るのはアンナポリス無線電信局の一萬七千メーターであるからだそれで此等の信號が空中に於ける混電から生じたのであるとは全く信ぜられない、どうしても

▲火星から　來たものに相違ない、其等の信號は吾々の使用し居るものと似るゐるので、判斷することが出來る、そして吾々は火星と通信することが出來る、それから又火星に向つて人間の照像を閃射すれば打診によりて色別することが出來る、火星からも同樣に送電して貰へば火星に棲む人間の體形と相好も知ることが出來ると。

州農務局認可
消毒
棉種子
發賣
Pereira Ignacio & Co.
Rua S. Bento, 47, S. Paulo

氏原旅館
實直、叮嚀、室內淸潔
アララクワラ線カタンヅーバ町
パライバ街角（柿內旅館跡）
郵函七七　電略カキウチ
並に州農務局消毒檢査濟內外棉種子取次致居り候間多少に拘らず御注文相成度御願ひ申上候

CASA ALOISE
ALFAIATARIA
Rua Liberdade, 53
Telephone Central, 3844

弊店は常に高尙優美なる新流行服を極めて廉價にて調製いたします
リベルダーデ街五三
カーザ、アロイゼ
電話セントラール三八四四

左記へ移轉仕候間倍舊の御愛顧希上候
佐々木洋服店
コンデ、サルゼーダス街五一番

奉祝天長節
中矢商店
中矢熊太郎
コンデ街六五番

奉祝天長節
日本品各種
直輸入商
瀨木商店
ルア、コンデ、デ、サルゼーダス四十九番

奉祝天長節
カーザ、ミカド
家具商　菅平吉
セバスチオン、ペレイラ街三番
電話―シダーデ―五七二番

●交通史より見たる大和民族

海外發展の事蹟（四）

ジユケリ　高木生

▲桃山時代から江戸時代にかけては安南といふ所ではマニラの市外にあつて三千人、呂宋の地は茶屋新六交趾貿易圖によつてツラン、フエフオの二箇所に勢力を振つてゐた趾が忍ばるゝ又角屋七郎兵衛榮吉と云ふ者此地へ來て居る中に日本では鎖國になり其儘留まつて其所に『松本寺』なる寺を建てたといふことである又京都の茶屋四郎次郎が秀吉の時代海外渡航朱印狀を貰つて初めて來た地である。暹羅の地は日本人最も多く八千人に及び山田長政がこゝに渡つて日本町の壯丁を率ゐて國王の爲め戰つたことは洽ねく人口に膾炙されてゐる其外カンボヂヤ等の是等は皆幕府の鎖國政策により遂ひに子孫が絶えるといふ悲劇に終つたのは遺憾である。

▲家康は海外通商主義であつて全く秀吉のそれを踏襲してゐる、秀吉の主義は耶蘇教は禁ずるけれども貿易は奬勵するといふのであつて唯家康は最初の間は通商貿易奬勵の爲めに宗教が少々入つて來るのは已むを得ないと思つて居たが種々の理由の爲め耶蘇教を禁ずるやうになつた、それで當時海外通商と布教とは常に相伴つてゐる然るに其の貿易を犧牲に供してまで之を禁せねばならぬやうになつたの遺憾である、二代目秀忠となつて更らに耶蘇教の禁令を出し三代目の家光となり鎖國は全く出來上つて日本人は海外へ行く事は差し止められ海外在住者は歸つて來る事が出來ず日本の門戸は堅く封塞せられし事となつた、結局鎖國と共に政治經濟及び文化上の得失を考ふると損失の方が無論多いことゝなるが、就中前述の日本人町に於けるが如く國民の海外發展に影響したる事夥しい。

▲要するに本邦海外發展の跡は奈良朝時代は朝野とも一般に進取の氣性が乏しく後宇多帝の御代になつて遣唐使が止んで以來邦人の海外發展は論ずるに足らぬ藤原時代になつて日本文化の獨立を見る事となり鎌倉幕府に於いては外征計畫と國民間に敵愾心起り秀吉の時代より德川氏に至るまでは國民の膨脹史であるといつてよい、德川幕府が鎖國主義を採りしにより政治、經濟並に文化上に影響したばかりでなく、邦人膨脹の氣運を萎縮したるはかへす〴〵も遺憾である更らに明治維新に至り具眼者海外へ殺到したが爲め之れが利害も甚だしくなつたが最近に至つて國民の膨脹性發展力が漸次に正調に復するに至りしは邦家の爲め賀すべき事である。（完）

●聖巴州境（二）

小林弘一郎

降雨は一行を苦しむる事一方ならず午後五時頃カンボも過ぎ、天に聳ゆる大樹林立して流水淸き所に出づ、流れは水量又豐富である。此の附近は珈琲産地々方の如き比較的曲線的の土地に非ずして、故國の山國地方の形態をなし居れり。巾二三間位の川を渡る事二三度にして、道路の最急斜なる個所に會し、幾度か下馬して雨中の事とて馬を先きにすべりおろして後ち行く事度々であつた。午後七時半人家の有る所に到着したが、土人の家なれば雨漏り且つ七名の者の宿るに由なく、用意した天幕を張りて宿る事とした。食事は土人の家に焚火して暖を取りつゝ、料理人のブラジル式馳走に腹を滿した。此の土人親切にして乘馬の世話など盡くなし呉れぬ。土人の家族中に百七歲なる木乃伊の如き老母あり、豆々と働き居るを見たり。生活はのんきにして土地を約四十アルケールを所有し、豚百二十頭ブール二頭を有し、ミーリョは可成大なる小屋に二つ所有し居れり、ミーリョの所有高は善くブラジル農家の貧富を表はす標象なりと聞けば、自分は之れを見逃す能はず、今日の行程イタラレーより六レグアなり。（三十六キロメートル）

翌十五日午前九時降雨を犯かして一行は再び馬頭を東南にし、幾度となく部落や森林を通過しぬ、昨日迄通過せし流れは盡く西北に流れリオパラナにそゝぐものにして、今日の旅行は東南に通ずる分水嶺とも云ふ可きものにして、道路の如きも公道と思はれぬ程の小さき山道にして、數尺巾の道も僅かに乘馬にて通過し得らるゝ程のものなり、通路の所々に雜木もて直徑十五メートル位な圓形に低きマンゲーロンを見る、之れは奥地より肥大豚をしてイタラレーの市場に出すために數十頭乃至一二百頭を放追しつゝ歩ましめ、一二の犬と二三のカボクロと之れを追ひつゝ町に出づるものにして、其の途中例のマンゲーロンは豚の集宿所となるなり、豚追人は牛皮を敷きて他の牛皮は之れを屋根として宿るを見ぬ、午後一時アルモッサのために一部落に到着しぬ、雨既に止みたるも氣候至つて寒冷にして北聖地方なれば種子播き時期なれば可成り熱き方なるに此の地方は雨後日光輝々たるに、下シャツ、ワイシャツ、チョッキ及毛糸のジャケット、上着等着せるも尚ほ寒さを覺ゆる程なり、土地の狀況甚だしく日本の田舍に似て草木又た故國に大差なく、土人の屋敷の附近芝生の如き青草疊の如く山羊や七面鳥アンゴーラの暢氣そうに遊び居るを見る、家屋の構造又た日本の其れに似て主として板屋根なり、東北宮城秋田地方に見るも羽板葺きにて土人と云ひ乍ら顏色黃色にして日伯混血人の如し、言葉は眞正の伯語なるも、ごことなくアクセントの異なり且つ語尾を盡く下ぐる所又た對話振りの悠揚迫らざる所聞くからに暢氣さうなり、アルモッサの後ち可成り多くの人々に見送られて東南を差しぬ、此の邊の農作物はミーリョ棉にして、自分の考へとしては牧草アルファファなど最適の地なるを思はしめぬ。

●北聖より一筆

コバトン　S　△　生

空には灰色の重き雲が流れて居るが雨後の空氣は澄切つて、赤味の強い朝陽の光が目覺めた樣に四邊を照して居る。畑の間を縱横に流るゝ小溝のせゝらぎ、彼方此方の野畑に種播く機の音がカチ〳〵と終日をやみなく鳴り渡る。『播かぬ種は芽へぬ』時を逸せず澤山植えなさい。畑のカッフェー山際のリッシャは眞白き花の今を盛りと咲き揃ひ米、キビ、豆、珈琲樹は過日の雨に稍々元氣回復し何れも濃き緑の色鮮やかに生々としてゐる　畑に機鍬持つ御百姓は日の出より日の入迄赤土塗に玉の汗ボロ〳〵我が家に歸るは日も暮方なり、併もサアードの青年は晝間の疲れも打忘れ家を飛出し天地も碎けん大聲に『男子一度び……』と吟聲高く飛出してメイヤノイテものかは志す宅に座り込み春の夜短しとウロ〳〵爲るも血若き男女にや無ぞ好かろう若い時は二度無い青年會員毎週二三回の國語算術葡語練習も遠からず物になるだらう、大に働き大に學び大に勉强し海外發展の實を擧げ玉へ。

●運動界●

●祝賀野球仕合は

三十日日曜午後

△コンデ下で擧行

天長節祝賀野球仕合は一日繰上げ三十日午後コンデ下の原つぱで擧行、腕に覺えがあり我れこそと思ふ者は誰でも構はぬ競つて出場すべし、勝つた組には賞品が出る筈

●祝賀庭球仕合は十一月二日午前より午後にかけミカドのコートにて擧行愛球家は振つて參加すべしと

●米人野球　聖市米人對リオ米人の野球仕合は來る三十一日を初日に十一月一日二日の三日間アンタルチカにて擧行、三日目にはオールリオとオールサンパウロの仕合にて笹原君がサンパウロ方の投手として出場する筈だから面白い仕合が見られやう時間は三日とも午後三時から

日本人諸君に對しては特に懇切に一切の法律事務の御相談に應じます

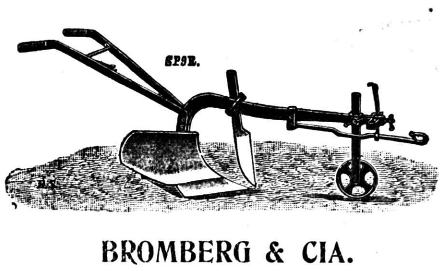
辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース

事務所　總領事館同建物四階十四號室

Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
Largo da Sé No. 3, 3°. audar
Sala 14　S. Paulo

獨逸製幷米國製アラード及附屬品、犂、製粉機、穀皮離脱機、其他一切の農具幷石油發動機、牛馬牽引發動機等安價にて堅牢なる品多量到着致候間御用命伏して希上候

尚詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候



BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756,　S. PAULO

聖市キタンダ街十番
ブロンベルグ商會

●購讀料御催促

各位益々御淸祥奉大賀候陳ば弊社今般事務整理の都合上購讀料未納者並に前金切者に對し此際大至急料金御拂込願度候間甚だ御手數には候得共右事情御諒察の上御送金被成下度願上候

▲購讀料率

壹ケ月	壹ミル五百レース
六ケ月	九ミルレース
壹ケ年	拾八ミルレース

但し前金に限り▲壹ケ年拾五ミルレース▲六ケ月八ミルレースに割引致候

▲外に外國送りは壹ケ年前金二十ミルレースに候間續々御注文被下度候

▲新購讀は前金に非ざれば取扱不申候間御注文の際は必ず料金を添へ御申込み被下度候

伯剌西爾時報社
NOTICIAS DO BRAZIL
Caixa Postal, H
S. PAULO

奉祝天長節

横濱正金銀行
リオ、デ、ジヤネイロ支店

奉祝
天長節

リオ、デ、ジヤネイロ市
蜂谷兄弟商會

●注射の話（上）

川上博士

近頃注射といふことがはやりませう。針ほどの細い管をつけたポンプのやうな機械で、皮膚の下とか血の管の中とかに藥をさしこむことであります。注射にもいろ〳〵ありますが、皆さんのいちばんよく知つて居られますのは、豫防注射でせうね。それ、流感の豫防注射だの、腸チブスの豫防注射だのね。それからヂフテリアといふ病氣の時には、藥を注射して治します。

どうしてあんなことで病氣に罹らぬやうになつたり、また重い病氣が治つたりするのでせうね。

そのわけはくはしくお話するとなか〳〵面倒なのですが、ざつとお話すると、よくわかつて面白いのですまあお話がちよつとわき道へ入りますから、どうぞそのおつもりで。

梅の樹でも、桃の樹でも、鋏で枝を切つてやると梢がたくさんに出て花がよけいに咲いて、實がたくさんになります。茄子や胡瓜のやうな野菜物でも芽を摘んでやると、やはり實のなり方が多くなります。でも、一度にたくさん枝を切つたり、芽を摘んだりしてはよくないことはきまつて居ます。こんなことはみなさんよく知つて居られますわね。つまり少しづゝ害を加へてやるとかへつて元氣が出て、加へた害にまけないやうになります。これはおわかりになつたでせう。

私ども人間の體もやはり同じであります。一度にたくさんの毒が體へ入りこんで來ましては、敗けて病氣になつて死んでしまふより外ありません。けれども、どんな恐ろしい毒の物でも、少しづゝ體へ入つて來ます時分には私どもの血液の中に不思議な作用物が出來て、その毒を消してしまひます。それぱかりではなく樹や草が害を受けると、かへつてたくさんの花が咲くやうに、その不思議な作用を持つてゐるものは、必要なだけよりはよほどたくさんに出來るのです。不思議ではありませんかこの餘分に出來た物が血液の中に殘つて居りますから、今度同じ毒が入つて來ても『それ來たぞ』といはぬばかりに、これを消してしまふのです。

皆さんは流感の豫防注射をしてもらつたことがありますか。……そんなら腸チブスの豫防注射をしてもらつたことがありますか。流行感冒でも腸チブスでも、何れも黴菌が體へ入つて、どん〳〵殖えるために起る病氣であります。で、流行感冒を起す黴菌や、腸チブスを起す黴菌が私どもの體へ入つて來ても、殖えることが出來ないで死んでしまふやうにするために豫防注射といふことをするのであります。けれど注射する藥といふのが流行感冒の黴菌や腸チブスの黴菌だから不思議ではありませんか。流行感冒ならば、病人の痰から、腸チブスならば病人の大便から、黴菌を取り出して、これを培養基といふ肥料の中で養殖すのです。その繁殖た黴菌を煮殺したのがあの注射の藥であります。

●安けき我が家

登枝子

神よ。主は我に住むべき隱家をあたへ給へり。家は小さく屋根は低くとも風を凌ぎ雨にも堪え得べし。我等は其下に、安らかに袖をもぬらさで横はる。其上主は我等をして我が分として、感謝の心を報ひしめんため、此のかくれがをあたへ給ふ。いざ何事の起らんとも、悲しみにあれ其他の事にもあれ我等は皆これに打勝たん、身の限り力の限りをつくして。勞苦のなき處に獲物はあらじ運命は勞苦によりて定めらるゝものなるを、汝は健康を希ふならん。さらば家を清くせよ朝床をはなるゝや否や、毛布と敷布を先づふるひ、寢床を清潔にするが爲、種々の物を皆床の上に置け、而して窓と戸を開き、よく風を通はしめよ。よき空氣の入り來る時惡しき空氣のにげ出ること、さながら善は罪よりも、勢の強きが如くに之をなせ、清新なる朝の氣の內に、然ば直ちにならん。而して汝の勞働をかるめ、又汝の心勞を滅せん。我が歌の名は健康なり。そは富よりも貴きたからぞ。記せよ此のたからを失ふは易けれど思ふまゝに取り返し得ぬ事を、天は親しげに上にほゝえむ、ホームに愛ある時、地はすべてやさしみを以て充さる。ホームに愛ある時近き小川は一きわ美しく歌ひ、青空は一層キラ〳〵と輝く、ホームに愛ある時、オ、そこにはほゝえめる神あり、かくて近くま近くよりて、我等は心や手を組みかはす。そこに我等のろへんの慰安はいと荒れ狂ふ日にもあり。オ、外にさまよふ人が狂はしげに行く、人生の歡喜はホームにあるが故に、天は垣間見するだに地上の人には許されず。されど幸福なる家庭こそ、その天國の入口にこそあれ。

時報歌壇

◇「十月」

メイア、レグア　丘の人

雨晴れの野路は懷し逍遙へば
近くの林に蟬の聲する
もの憂いの心は晴れて小鳩なく
春は來にけり十月の野邊
水禽のよく來て啼きし河岸の
蒲の叢に螢とぶ見ゆ
春淺し野路に芽ぐみし若草に
鈍くも輝く雨後の午陽
彼方此方の烟りに眠る山も野も
時雨とゝもに青葉する哉
水增せし小川の岸に釣りすれば
赤き蜻蛉の水の面に飛ぶ

北海哀話

監獄部屋（十二）

三友生

『氣が濟んだか、序に其の棚をおつぺがして調べたらごうだ、餘計な手數をさせやがる、頓智奇奴』

『不思議だなア』棒頭はぎし〳〵と梯子を登つて行くらしい、汽笛が重ねて性急にぼう〳〵と鳴つた。

『早くしねえか』棒頭がまだ船內を尋ねてゐるらしい、船員が頻りに急き立てゝゐる、やがて艀船が船側に突當る音がする、甲板では船員が惡口を言つてゐる。『もう占めた』と德さんは考へた。

然し德さんは銅貨五六枚より持合せがなかつた、これから何處へ行つて、どうして京都へ歸れるであらうか、こゝまで來た旅費や食料をこのまゝ逃げる以上は警察は默つてゐるであらうか、德さんは新たな心配が湧いた。

錨は卷き揚げられてスクリウの響がぶる〳〵と船を搖り初めた、それでも德さんは五六時間はぢいと隱れて身動をしなかつた。

『もう好い、おれが助けたと言ふじやねえぞ』差出した水夫の手に縋つて德さんは船員室に昇つた、而して俄かな光線に會つてよろ〳〵しながら甲板に出てぼんやり立つてゐた。

『やあ、うまくやりやがつた』と飛んで來て肩を押へたのは鮭漁の男であつた。

『お陰で助かりました、誰も何とも言ははりやしまへんやろか』

德さんはおど〳〵しながら漁夫の顏を覗つた。

『何に何とかならう、船長に賴んで見な』

と先に立つ男の後から德さんはすご〳〵尾いて行つた。

船長はフアンネルの根で溫まりながら煙草を喫つてゐたが

『さうか、うまくやりやがつたな、根室に上陸しちや危ねいから擇捉まで行きな、運賃を持つてるかい、六圓だ』

とにや〳〵笑つた。

『お前が稼ぐ氣なら……おれと一緒にだせ、運賃は親方に相談してやらう』

と鮭漁の男は云つた。

『あんたはんのお行きやす所なら、何所へでも參ります』

と德ざんは早速應へた。

『好し來た、ぢや相談してやらう』

『德さんは又その男の後から、とぼ〳〵と二等船室の方へと尾いて行つた。（完）

社告

左記の處に支部及び取次所がありますから購讀申込、料金拂込、其他の事に就いて便宜最寄の處へ御照會を願ひます

◆モヂヤナ線コンキスタ驛
コンキスタ支部　福川薩然

◆ノロエステ線プロミツソン驛
上塚殖民地
プロミツソン支部　鈴木季造

◆同線ビリグイ驛ビリグイ
土地木村殖民會社
ビリグイ支部　宮崎八郎

◆同線アルプケルケ、リンス驛
森部商店
アルプケルケ、リンス支部　森部一衛

◆海外興業會社伯國支店
リベロン、プレト出張所
リベロン支部　坂元靖

◆ノロエステ線
プレジデンテ、ペンナ驛
ペンナ支部　古庄常喜

◆サントス市ラルゴ、セテ、デ
セテンブロ一五番成功館
サントス支部　古謝將義

◆ソロカバナ線セルケラ、
セザル驛
セルケラセーザル支部　岡島仁郎

伯刺西爾時報社

尋人

大正八年五月廿日讃岐丸便渡來
最初就働地名
サンタコンスタンサ耕地
熊本縣阿蘇郡馬見原町
大字馬見原五十二番地
家長　渡邊藤吉
妻　フジノ
弟　半次郎

右家族の人々へ急用あり現住所至急通知ありたし

海外興業株式會社移民部
Caixa Postal, 1082 S. Paulo

鍛冶職廣告

私儀郷里にて鍛冶職營業大正二年渡伯後サントス港ドック會社工場に滿五ケ年勤續の處今般左記に獨立鍛冶職を開業誠實を旨とし農具其他一切の器具製作可仕候間何卒御用命の程願上候

サントス港　平田初太郎
H. Hirata
Caixa Postal, P. P. SANTOS
プロゼーシタダ三四街三三番
エスタソン、ジユキアー際

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rna dos Lavapés No. 236

奉祝天長節
家具商
カーザ日本
吉田政之進
コンソラソン街四二
電話セントラル四六二〇

奉祝天長節
海外興業株式會社
イグアペ植民部
伯國支店移民部
アニユーマス農場

奉祝天長節
中山旅館
コンデ街六九番

●國防本位で廿一師團を縮少

◇軍事參議官會議に於て立案◇

山縣、奥兩元帥を初め各軍事參議官出席したる軍事參議院會議に於て華府會議に對する帝國の陸軍々備制限程度に就き審議する所あり、『日本は

▲國防本位の下に　既定計畫せる陸軍力を保持し國際間の爭議が兵力に依らずして圓滿に解決せらるゝ迄該計畫を變更する事なかるべし。日本の地理的特殊位置及び國境連接の現狀は該方針を必要とす』と決定したるが今次の決議に徵すれば

▲帝國は曩に決定　せる現在二十一師團維持を變更せしものゝ如く若し列强にして陸軍兵備を實質上縮少せば日本も之れと共に比例的縮少を爲すを拒まずと觀察せらるゝが帝都各新聞の報道する所に依れば帝國陸海軍當局は、臺灣、澎湖島、旅順口及

▲小笠原島等に於　ける要塞撤退の交換條件として米國に對して具體的に布哇、非律賓、グワム島の要塞並に防備撤回要求を提議すべく信ぜらるゝが當局は右に關し何等肯定或は否定せざるも某有力なる軍事當局の一人は太平洋の防備撤回實現は頗る

▲困難なる問題に　て之れが實行は望ましき次第なれども寧ろ期待に過ぎざる可きが米國が日本に連接せるグワム島に强力なる要塞を築きて海軍根據地となすは理論上より考察するも日本に取りて多大の威嚇にして若し主客地位を轉換し假令ば米國に接近する

▲ジヤメカ群島に　强固なる海軍根據地を建造するとせば米國官民は如何に之れを觀察す可きか此等の點に關しては宜敷米人の考量を煩度きものなり云々と語れり

●尊姿撮影許可

天皇、皇后兩陛下、皇太子殿下の尊姿撮影に就ては從來の取締方針に多大の改革を施し原則として鹵簿以外御徒歩の英姿も一般に撮影を許可せらるゝことゝなれるが其實施方法として撮影の際に於ける混雜防止其他取締法も決定直に關係各官廳に此の旨通牒されたるが決定事項は一、尊姿撮影に際してはマグ子シユームを使用せざること一、停車場構內に於て撮影する場合は所管鐵道局に願出で許可を受くべし、一、停車場外に於ては所轄警察署に願出で許可を受くべし等なり

●廿一個條固執

△政府當局聲明

有力なる某政府當路者は聯合通信社東京特派員に對し日本は華盛頓會議に於ける根本政策として日支協約を形成する二十一個條は之を論議撤廢するの意志なく山東省還附問題の如き日支兩國にのみ關係する案件を華盛頓會議に於て云爲するを許さずと聲明せり。某氏の所說に從へば日本は如上の問題を既成事實として取扱ふべしとの事なるが他の極東諸問題に關しては勿論明確卒直に說明の勞を採るに躊躇せずと云へり

●英太子御旅館

東宮殿下渡英御答禮の爲め來春渡日せらるゝ英國皇太子殿下御滯在中の御旅館として赤坂離宮日光田母澤御用邸及び大宮御用邸を當てらるゝ事に決定既に御手入れを終れり

●遣米特使一行

△百餘名に上るべし

太平洋會議には軍備豫算の關係上財政專門家を派する必要あり之が爲め大藏省よりは十名位の隨員を渡米せしむる事となり首席委員には最近歸朝せる森財務官任用せらる可き模樣なり尙外務省側の隨員は本省よりは高等官約二十名歐洲の帝國大公使館及び在米大使館員より約十名任命せらる可く其他囑託等を加ふる時は五六十名に達する豫定にして之に陸海軍側の三四十名の隨員を加ふる時は太平洋會議に臨む帝國委員の數は百名を超ゆるに至り外電の報ぜる百五十名の數字に近かる可しと

●（米大使）親任狀捧呈

東宮殿下は御名代として九月六日宮中に於て新米國大使チーャルス、ワレン氏の親任狀を接受せられた。尙ほ兩陛下は日光田母澤御用邸より御歸京あらせられた

●物價騰貴の狀勢

昨年四月財界變動以來物價は下落續きなりしが本年五月に至りて狀勢一變し最近日本銀行調査に依れば物價は五月中に四厘九毛、六月中に五厘一毛、七月中に二分三厘二毛、八月中に一分四厘二毛、即ち四月以降合計四分九厘八毛騰貴せり而して米穀鷄卵、綿糸布、瓦等の騰貴最も顯著なり

●潜艦と飛行機で 最初の協同作業

松村第一潜水戰隊韓崎以下は靑島の巡航を終へて三十一日吳に歸投した同艦乘組員は曰く、本隊は靑島巡航の途中玄海灘に於て飛行隊との聯合作業を行ひ大いに見るべき記錄を作つた、此の飛行隊との聯合作業は我海軍に取つて初めてのもので歐洲大戰の教訓に鑑み主力艦隊に對しどの程度まで潜水艦と飛行機とで對抗が出來るかを研究したものである、此の作業中暴風雨が激しかつたので相當に難航を續け且つ潜航に際しても高速航續運轉に際しても幾多の冒險的作業を行ひ夫れ〴〵新記錄を作つたが幸ひに何等の故障もなく好成績を收め得た事は昨年以來北海に、臺灣に、又今回の支那等に約一萬浬の遠航訓練を行うた賜物である

●富谷大審院長退職

△後任は平沼檢事總長か

大審院長富谷鉎太郎氏は十月十四日を以て司法官停年令に依り滿期退職す可く現檢事總長平沼騏一郎氏之れが後任たるを承諾せりとの說あり若し平沼氏大審院長に就任せば司法次官鈴木喜三郎氏檢事總長たらんと

●大河內子所長就任

理化學研究所內に於ける少壯學者連は古市公威並に櫻井錠二兩博士に慊焉たらざるものあり排斥運動を起したる結果子爵大河內正敏博士同所々長に新任するに至り所內の空氣を一新する所ありたり

●朝鮮人移民

△佛國政府勸誘

佛國政府より日本政府に對し佛領マダカスカル島へ朝鮮人の團體移民を募集したしと申込あり外務省より朝鮮總督府へ照會したが之に對し總督府は左記五個條の條件附きで無くては團體は許可し難しと外務省へ回答した。（一）移民に家族同伴を許し其旅費の全部を支給する事。（二）移民に隨意に歸國を許し其旅費をも支給する事。（三）醫療機關の設備を充實し移民へ治療費を給する事。（四）移民への勞銀は土人或は支那人以上の相當額を供して生活の安全を保證する事。（五）移民保護の全責任を佛國政府が負ふ事

●內務省遂に受理

脫稅目的たるの故を以て受理を拒絶せられたる安田財團は其後規則を改正し三百萬圓寄附を申出でたるより內務省は遂に承諾するに至れり

●丁年十八歲說

△榊博士の意見發表

九州帝大醫學部教授榊保三郎博士は明治四十三年以來十一年間に亘り學齡兒童より滿二十歲までの

▲精神の發育問題　に關して研究中であつたが最近漸く之れを完成し約五百頁の著書として發表した、それに依ると現今法律に於ける責任能力に關する法令並に幼年法の改正に關するもので、其の研究の結果、身體發育停止時期は男子は滿十八年半

▲精神發育停止期　は滿十七年八箇月であるから從來の滿二十年を以て丁年とする必要少しも無く有爲の壯年期間を少くとも一箇年以上延長せば國家經濟上甚大の利益がある、而も滿十八年半を以て懲兵適齡期と改正せば兵員の增加及び兵士の衛生狀態即ち花柳病減少策として

▲最良の方法たる　べく更に同問題は進んで現在の普通學及び高等普通學の規定制度の改正を要する、猶ほ博士は女子の精神發育程度問題に就て詳細に說明してゐるが近く右著書を貴衆兩議員に向け發送し右法律の改正を促進し幼年法其の他の法律改正の機運を作る意氣込みであると

●滿鐵事件擴大

滿鐵事件は爾來擴大の模樣なるが曩に外遊中召喚の命令を受け歸朝せる撫順炭坑庶務課長小日山直登は僞證罪にて九月十八日收監されたり

●福岡で爆彈發見

既報日本人を主とし朝鮮人を交へたる四十名の過激社會主義者の檢擧を以て東京諸新聞は最も重大なる暴動に關係あるものとせり警察當局は一九〇〇年（幸德事件）以來最も大なる無政府主義者の共謀事件なりと宣言せり露西亞過激派及び獨逸スパルタカス派に類似せる煽動的文書の多數警察の手に押收され東京に於て爆彈押收されたると同時に福岡に於て爆彈庫發見されたり

四方山話

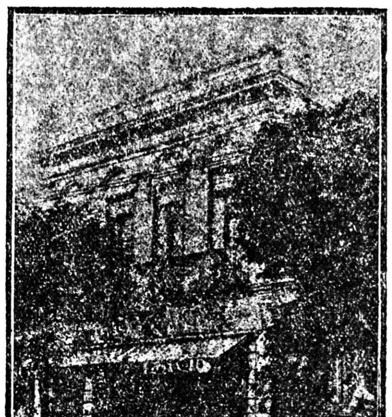
▲この程のことである西伯利ハブロフスクの博物館內で世にも珍らしい縊死事件が起つた事件の主人公が猿公とあるから全く珍らしい▲猿公名はフエーミヤ長年同館に飼育されて來た猿一日多數の館員が支那人の賣りに來た一匹の子猿を取圍み面白さうに眺めてゐた▲それを見たフエーミヤの御機嫌は忽ち斜となり憤然として子猿に飛掛つたが館員に遮られ目的を果し得ず無念の形相物凄く己が部屋へ飛歸つた▲程經て館員はフエーミヤが天井から吊してあつた革紐で首を縊り哀れな死を遂げてゐるのを發見して驚いた▲猿は人間に近い動物だけに隨分面白い話も澤山あるが意識的に縊死を遂げたのは恐らく之が初めだらうと同館の支配人が語たとは最近日本へ來た一露人の話しだと云ふ話である

奉祝天長節

上地旅館

上地彌造

ボニータ街一一番

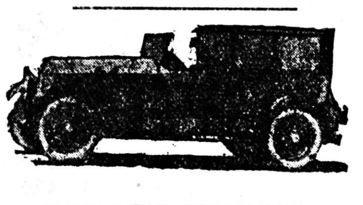


奉祝天長節

カーザ東京

家具商　杉本芳之助

Rua B. de Itapetininga, 20, S. Paulo



奉祝天長節

GARAGE NORMAL
Praça da Republica No. 43
Telephone Cidade, 56

貸自動車業

原村喜之助
林岩松
岩本秀雄
東美代平
川野一內
中村末熊

●聖市在留民の天長節祝賀會

本日今上陛下第四十三回の御誕辰祝日に際し聖市在留同胞は例年の如く天長節祝賀會をアクリマソン公園に於て催ふすことは既報の通りなるが尚ほ之を一纒めとして其の次第を詳報すれば、今朝藤田總領事を煩はし聖市在留民より宮内省宛にて

謹ミテ天長節ヲ賀シ併セテ御全快ヲ祈リ奉ル

と祝祈電報を發し、會場係りは過日來裝飾委員に由つて熱心に研究されたる方法に依り同公園内舞踏場を日伯兩國旗中心に萬國旗を以て飾り立て外側餘興場は樹木より樹木に旗と提燈とを釣り廻はし、いと高尚に且つ賑かに飾り付を爲すことになつてゐる

▲祝賀會順序

會場 アクリマソン公園（入場隨意）
開會 十月三十一日正午（晴雨にかゝはらず）

◆第一式

一、祝賀式 午後正一時公園舞踏場
一、開會之辭 熊坂清四郎
一、國歌 君が代二回奏樂合唱
一、祝辭 總領事 藤田敏郎
一、祝辭 在留民總代山田揚之助
一、萬歲 藤田總領事發聲三回
一、樂 奏ブラジル國歌一回
右終りて一同撮影

◆第二式

餘興 午後二時より
「餘興開始と同時に菓子券、酒又はサイダ券及び辨當券を現品と引換ゆの事」

運動會

1 大正小學校男生徒（小）徒歩競走
2 同 同（大）同
3 同 女生徒（小）同
4 同 同（大）同
5 五基米突長距離競走（湖邊五周）
6 女子豆拾ひ競走
7 提灯競走
8 大正小學校男生徒旗取競走
9 一人一脚競走
10 女子針通し競走
11 二百メートル競走
12 小供背負競走
13 二人三脚競走
14 旗取競走
15 ボート競走
16 二回野球及び庭球仕合

閉會 午後六時

尚ほ會費三ミルに對する辨當、菓子及酒又はサイダ券を未だ求むるの機會なき人の爲五十枚を限り本日會場入口にて希望者の求めに應ずる由

●英皇太子御出發

英國皇太子殿下には印度御見學のため戰艦『レナウン』に御坐乘二十六日ボルツマスを御出發あらせられたるが印度、海峽殖民地其附近の英領地御見學後日本皇太子殿下の英國御訪問の御答禮使として來春早々東京を御訪問の御豫定なりと

●中村公使紐育出發

亞爾然丁國へ歸任の途中に有る特命全權公使中村巍氏及令夫人は去る廿七日『バウバン』號にて紐育出帆亞國に向はれたりと

●本年の移民渡來數

本年初めより十月廿四日までの間にサンパウロへ到着上陸した移民數は合計二萬七千九百二十六人にして、『シアトル丸』『サンロソレ』『ガリバルヂ』の三船にて目下渡來の途中にある者九百人なりと州勞働局は發表したり

●飛行大會

◇開會は一日午後二時◇

南米に於ける飛行宣傳の爲佛國政府より派遣せられ過般來伯目下滯聖中の佛國女流飛行家アドリアン、ボーラン孃の發企にて昨三十日グワピーラ飛行場に開催の豫定なりし飛行大會は都合に依り明十一月一日午後二時に延期せられたり

當日は孃の外に多數伯國飛行家も參加して各其妙技を發揮すべく殊に孃の宙返り飛行、其他の曲藝飛行大に呼物となり多數見物人ある豫想にてカンタレーラ鐵道會社は特別列車を增發して見物人の便を圖るべしと

●銅像贈呈式

サンパウロ在留伊太利人よりサンパウロ市に寄贈せる伊太利作曲大家ヴエルジの銅像贈呈式は先週銅像建立地サンジョアン街シチマ、セントラル前の廣場に於て擧行されたるが、ヴエルジは『リゴレット』『トラヴィアッタ』其他有名なる歌劇作曲者にして銅像亦頗る美事なる出來なり

●大正小學校へ寄附

旭殖民地の山口源九郎、渡邊駒吉の兩氏は各々金拾ミル宛大正小學校へ寄附せられたり

▼▲百年祭彙報▼▲

△米國 が伯國百年祭リオ開催博覽會參加費として百萬弗（日本金二百萬圓）支出に關するロッヂ案に對しボラー氏半減を主張したるも採決の結果修正案は五十對二十五の少數にて破れ、ロッヂ氏の百萬弗案は二十日上院を通過し、二十五日に下院又同案を大多數にて可決したり

△同國 紐育に於ても亦伯國に關係ある重なる實業家の間に來年の伯國獨立百年祭を機とし、リオ市に一大モニュメントを寄贈せんとする計畫ありて十九日紐育に同志會合實行委員を擧げたる所、全米電線會社重役メルリル氏委員長に、北米輸出入業協會ブラジル部長リカルド氏副委員長に、ケルミット、ルーズベルト氏（故大統領の令息）會計に選擧せられたさうである、委員の數は總計十八人にして此の内にはムンソン線汽船會社長全米協會長等ありて何れも伯國に直接關係ある有力實業家なりと

東京電報、桑港通信（九月二十八日）

●日本代表者確定

華府軍備縮少極東會議出席の日本代表は久敷く人選行惱み中なりしが漸く確定發表されたり代表者及隨員の主なる者左の如し

代表者 貴族院議長 德川家達公
同 海軍大臣 加藤友三郎男
同 駐米大使 幣原喜重郎男
隨員 法制局長官 横田千之助氏
同 外務次官 埴原正直氏
同 外務參事官 林 毅陸氏
同 歐米局長 松平恒雄氏
同 海軍大學校長 加藤寬治氏
同 參謀本部第二部長 田中國重氏

隨員の資格は平等にて必要に應じ委員を增加すると云ふ代表者等は十月十三日春洋丸にて横濱出發同月廿九日桑港着の筈

●露過激派軟化

財産私有權を否定し資本家に對し常に猛烈なる攻擊を加へつゝありしレニン一派の過激共産主義者も其夢想せる樂園が毫も實現の兆なきに當り國内大に食料燃料の缺乏を告げ餓死凍死頻出せるに反省したるにや近來漸く其所說を改むるに至れる模樣にて彼の一派の經濟部長ボグダノフ氏は過日モスコーの勞働組合實行委員會に於て政府は資本を招來する手段として分益方法にて或る工場を資本家に貸與し又從來政府の專有に屬せる同種類の或る工場を合併して一種のトラストを組織したる旨宣言し尚白金及金の採取事業に關しては其生産を政府に時價を以て賣渡す條件の下に之を私人に貸與する事も考慮中なりと言明したり

レニン治下の露國の窮狀は實に慘憺たるものにして前歐州民救濟委員長として有名なる米國商務長官フーバー氏は二十六日書を下院の軍事委員に送り戰爭材料の殘餘品を露國に送らん事を提議して曰く、直ちに露國民救助をなすにあらずんば同國民中五百萬乃至一千萬の餓死者あらんと此狀態では如何に過激なるレニン一派も人道の爲改說して其同胞を救ふの道を講ぜざる可らざるなり

●內心如夜叉

パウリスタ線グワリーバ驛某耕地のエレナ、ロザナと云ふ今年二十九歲の女二年前其良人ヴイセンテが行衛不明となつてから情夫エウゼニオと同棲した處至つて夫婦仲惡く先月二十五日の晩耕地で催された舞踏會にエレナが行かないと云つたのが因で大喧嘩となり互に挌闘の末エレナはマシヤヂーニョを以てエウゼニオの頭部を叩き割つて即死せしめたので殺人犯として直ちに收監された、エレナは到底免れぬ罪と覺悟を極めたのかそれとも死人に罪を被せようとの淺墓な考へが近頃になつて恐ろしい罪狀を白狀した、彼女の申立に依ると一昨年十一月まだリベロンプレト附近に居た時の事或る夜情夫エウゼニオがピンガを御馳走して呉れと云つて來たのでエレナが台所からピンガ瓶を持つて來て見るとエウゼニオはマシヤヂーニョを以て睡眠中のヴイセンテを叩き殺して仕舞つて平然として居たそれから罪跡を晦ます爲にエレナの父と情夫と三人にて附近に深い穴を掘つて埋め行衛不明を云ひ觸らし間もなく情夫と共に今の耕地へ轉じたのださうな、警察では直ちにリベロンプレト警察へ通告しエレナ立會の上掘つて見た處果してヴイセンテの死骸が出て來たのでエレナを未決監に送り目下其父ジョオンの行衛を探索中である

□□人事來往□□

▲藤田克巳氏 イグアペ植民地主任の同氏は二十五日出聖
▲熊坂清四郎氏 藤崎商會支店長の同氏は三角ミナスより廿六日歸聖
▲戸塚錦一氏 日本貿易會社員にして今回リオ支店へ轉勤の同氏は多數の知人に見送られ廿三日リオへ出發
▲青木新次郎氏 レヂストロ植民地甘蔗加工同業組合の同氏は砂糖相場研究の爲一昨日出聖

伯刺西爾時報取次所
旅館 成功館
サントス港 古謝將義
Largo 7 de Setembro, 15
Tel. Central, 2008, Santos

在留證明手數料未納者に告ぐ

大正十年度徵集延期出願に要する在留證明手數料未納者並に不足額追納を要する向へは右至急納付に關し再三及通報置きたるも今尙ほ納付未濟者あり之れがため整理上非常に差支を生じ居るにより本月末日迄にサンパウロ郵便局に到着する樣當館宛送金ありたく萬一同日迄に納入せざる向に對しては不得已伯國內各帝國領事館へ夫々人名通知の上大正十一年度分より各館に於て一切在留證明書を發給せざることに致すべく此段豫め通告す

大正十年八月
在サンパウロ
帝國總領事館

奉祝天長節
神
印 最上醬油
釀造元 サントス港
神田榮太郎
Caixa Postal, 282
SANTOS

祝天長節
田口洋服店

祝天長節
石井寫眞館
Rua Cons. Crispiniano No. 16
Telephone Cidade 6029, S. Paulo

奉祝天長節
廣島屋旅館
小川源右衛門
コンデ街五三番

夫安家儀永々病氣の處藥石其効無く遂に去る九月廿三日午後三時死去仕り候間此段生前辱知諸彥に謹告仕り候

福島縣人
妻 菊地ナミノ
長男 同 唱
友人
菅野長十郎
安瀬盛次
菅野新吾
大内寅之助
黑羽孫七
遠藤金六
武藤辰治
佐藤壽平
齊藤豐治
根本傳

夫啓太郎儀突然なる病氣の處藥石其効なく去る廿日午後二時プレシデンテペンナ驛ウルー殖民地にて死去仕候間此段生前辱知諸君に謹告仕候

福岡縣企救郡人
妻 柳田フセ
長男 柳田增雄
長女 柳田アヤコ
義弟 中野止
友人
今村權造
大森角之助
古賀龜吉
中野藤七
片山秋之助
栗木才吉

31 de Outubro de 1921 No. 212 Noticias do Brazil 大正十年十月卅一日 月曜日 第二百十二號

大石內藏之助

四十

半井桃水

『兎角御無事であつたのは、此の上もない幸福、嘸かし大石殿も、お喜び下されう、拙者は最早お暇致し少しも早く大石殿へ此の趣をお知らせ申す』

『マ、暫く、拙者も御同伴致さうが久しぶりの御出會、殊には命拾ひの祝、何はなくとま先づ一杯』

『お志は、忝けないが、片時も早く大石殿へお知らせせねば相成らぬ』

『ハテマア夜道に日は暮れませぬ、折角用意致させたもの、御迷惑でも今暫し』と勘平は無理に留めて、酒肴を促した。

『時に足下は、江戶御發足の前、吉良家の模樣を捜られたで御座らうが上州の手疵は愈々世間の噂通り』

『至つて淺傷と見えまする』

『上杉家より人數を繰出し、邸を警戒致すとやら』

『拙者も日夜姿を窶して、吉良家の近所を立廻り、竊に動靜を窺ひましたが、イヤハヤ物々しい邸の用心裏表の門內には、槍薙刀を持つた者がいつも大抵四五十人づゝ、夜は篝火を燃き列ね、人數も增すと申す事、其外門前には突棒刺叉槍を携へた足輕共が五六人、嚴重に番をして、出入の商人用聞も、十五歳以下の子供か女でなうては門內へ通さぬと申して御座る、夫れとても當座の事、五日十日と經つ內には、自然人數も減るであらうと存じたは大違ひ、日數ふる程人數を增して、拙者が出立致す頃は、倍以上にもなつて御座る』

『夫はまた何とした事』

『日數たてば赤穗から、馳下る者もあらうとの用心、上杉家では領國より、人數を呼寄せたさうに御座る』

『何時まで夫は續くで御座らう』

『淺野家の御家中一統、四方へ離散致した上、もう大丈夫と見るまではなか〳〵警固も弛みますまい』

『さすれば本望達する事も、容易には叶ひませせぬな』

『大石殿も其の儀に付いては、頗る御苦心と察せられます』

『して我々一味の人數は』

『大石殿のお見込では、先づ五十人あるかなし』

『決死の者が夫だけあれば、必ず本意を遂げるで御座らう』

『世の中の取沙汰では、內外嚴重に守らせながら、其の實上州は、上杉家へ忍び居るとか、邸內に脫け穴を作らせて隣邸へ通ふとか、さま〳〵に申し居るテ、兎角敵の樣子を捜り虛實を知るのが何より肝腎、拙者も日ならず江戶表へ取て返し、及ぶ限り樣子を見極め、追々注進致すで御座らう』

『吉良家討入と極つた上は、此の地に在つても益には立ぬ、拙者も江戶へ下り申す』

此の時勘平が妻のお繁は、白裝束を改めて、用意の酒肴運び出し、

『何の用意も御座りませぬが、折角お飲し下さりませう』

勘平は妻に向ひ

『身共は菅谷氏のお供をして、今より赤穗へ參らにやならぬ』

『大方左樣と存じました故、馬には鞍を置き、旅立のお支度それ〴〵、調へて置きました』

『そりやよく氣が付いたの』と勘平は片頰に打笑む。

『一先づお歸りなさるかえ、夫とも直に御城下から、江戶へお越しなされませうか』

『ナニ、江戶へ、汝は樣子を窺ひ居つたな』と勘平は儼然となる。

『アイ、此の塲の樣子が氣がゝりゆゑ、私やそつと聞きました』

* * *

夫れと聞くより勘平は一刀引寄せ起立り、

『一大事を漏聞いたとあれば、命を斷つ覺悟致せ』

妻は驚く氣色もなく、

『何の道捨てる覺悟の命、お先へ參つて、お待受け致しませう』

『申殘す事もないか』

『菅谷樣のお越しがなければ、疾く死んで了うた命、今更言置く事も御座りませぬ』

『菅谷氏、御免』

刀の鞘を拂つた時、半之丞はあわたゞしく、

『横川氏、暫く』

『何故お留め下さるか』

『男子も及ばぬ天晴のお覺悟、縱令一大事を聞かれたとて外へ漏れる憂ひはあるまい、何の道捨てる命とあれば今暫し生存へ、我々同志の者の爲め、力をお貸し下さるまいか』

『ナニ同志の爲めに力を貸せとな』

『拙者一存をもつて、取計らひは致しかねるが、大石殿へ申入れ、お指圖を得た上で、御相談致すで御座らう』

『では今暫く、一命預け置きませうか』

『御懸念に及ばぬ事、拙者確と受合ひ申す』

『菅谷氏のお言葉により、暫時命を預け置く、忘れても一大事を口外しては、相成らぬぞ』

『何のそのやうな事、人に話をしませうぞ、不束ながら横川勘平が妻、水火の責に遇うたとて、いらぬ命と覺悟の上は恐る處も御座りませぬ』

『ム、、その言葉を忘れまいぞ、然らば菅谷氏、餘り夜の更けぬ中、御同伴致すで御座らう』

『お支度めされい』

『心得申した』

起立る良人の前に、妻のお繁は手を仕へ、

『大石樣へお對面なされた時、江戶行の女手形を一枚お願ひ下されう』

『ナニ、江戶行の女手形』

『菅谷樣のお話では、十五歳以下の子供か、女なら吉良の邸へ、出入りも叶うとの事、女物賣となつて、朝夕吉良家の樣子を窺ひ、あは好くば下婢に傭はれ、討入りのお手引も致したいと思ひます』

半之丞は横手を拍つて、

『大石殿へ申入れ、お指圖を仰いだ上、我々同志の者の爲め、お力を借りたいと申したのは即ちそれぢや』

『ム、、では吉良の邸へ下婢となつて、入込まうと申すのか』と勘平も笑を含む。

『首尾好く參れば此上もないお手柄』

『なれども萬一露顯致さば、事の破れと相成る次第』と勘平は小首をひねる、

『必ずお案じなされますな、假令此の身は砂利になつても、皆々樣に御迷惑掛ける氣遣御座りませぬ、その代り離別のしるしを渡して置いて貰ひませう』

『若もの事のあつた時、累を殘さぬやう、離緣狀をくれえと申すか、夫は何より容易い事、兎も角も城下へ參り、大石殿へお目に掛つて、先づ連判の數に入り、然る上汝の事を申上げて見るであらう』

『菅谷樣、何分よろしく御家老樣へお取做し下さりませう』

『委細心得申して御座る、此の塲の次第大石殿へ逐一申入れたなら、嘸かしお喜びと察し申す、吉良家の樣子を捜ぐる爲には同志の內から二三名、密偵を出したいといふお話も承はつた、したがなか〳〵男子では、思ふやうに參るまい、男まさりの女子があれば、是に越した事は御座らぬ』

此の間に勘平は支度を調へ、半之丞と轡を並べて、赤穗の城下へ打立つた。

婦人欄

◆天長節に際して

きよ子

◆年に一度の大紀念日、國民擧つての大行樂日たる天長節祝日は今日となりました、本年は　聖上陛下の御容態勝れ給はぬ所から、天長節を御祝ひ申す中にも尚は幾分の憂慮が國民の頭腦を離れぬ次第でありますが去る十日以後別段の御電報なき所から拜察しますれば、其の後の御經過益々御好良なりとして喜ばざるを得ないのであります。

◆ですから海外に在る私共も、本年の天長節祝日を心から奉祝し、萬民歡樂を同ふすること例年の如くであると共に、聖上陛下の御容態一日も早く御健康の舊に復し給はんことを祈願しなければならぬのでありますが、其れに就いて私共の心得置かねばならぬ事柄は、此の意味深き今年の天長節を如何なる形式に於て祝賀し祈願せねばならぬかと云ふことであります。

◆勿論心の中に於て御祝ひし御祈りするの必要なるは言ふまでもありませんが、是と共に形に表はす祝祈も亦其の心を表はすに相應しいものでなければならぬと思ひます、即ち伯國在住の私共が最寄〳〵で祝賀會を催ふし行樂を爲すに就きましても、是までの樣に兎角御神酒が過ぎて失態を演じたり、歡樂の度を通り越して喧噪亂舞に陥つたりすることのない樣に豫め注意する必要があります

◆尤も私共は何事に就けても注意深い躾が有りますから、男達の樣に無作法な騒方も無い樣でありますが、其の代り服裝や動作で外人をして、顰蹙せしむることが往々有りますから、此の點は呉々も注意し合つて、特に祝賀會やレセプションの場所では祝祈の情を行爲動作に表はし、以て環視の外人に敬虔の念を起さしむべく意を用ひねばなりません。

◆何年の天長節でありましたか、聖市在留同胞がアクリマソン公園で祝賀會を催ふしました時、歸り掛け公園の出口で喧噪を醸して外人の嘲笑を招いたり、醜業婦が自動車で式場を乗り廻はし一部正義の士を憤慨せしめたりしたことがありますが、斯樣なことは各自注意を拂へば防ぎ得るのでありますから、決して突飛なことを仕出かして大切な祝日に汚點を附せざる樣呉々も意を用ひるが肝要であります。

御斷はり

本月廿八日（金曜日）に發行すべき本紙二百十二號を『天長節號』として天長節祝日に發行する爲め日附を三日繰り下げ卅一日と爲したるも次號即ち二百十三號よりは金曜日發行に復すべければ茲に一寸御斷はり申します

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

郷里送金

一、日本金に引直相場は當分伯貨三ミル九百レースにつき日本金壹圓
二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御鄕里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息	六ケ月以上	年五分二厘
伯貨定期預金利息	六ケ月以上	年五分五厘
	壹ケ年以上	年六分
伯貨當座預金（小口）		年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

リオ、デ、ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

奉祝天長節

日本貿易株式會社
リオデジヤ子イロ支店
サンパウロ出張所
アルゼンチン支店